

吃音（どもった話し方）のあるこどもへの正しい理解と将来を見据えた支援



幼児期から始まる吃音（きつおん）は、就学時期に自然消失することが多いなかで、以後も吃音とともに生活していく子どもがいます。吃音は幼児期に見られる特有の話し方ではありません。「気にならない」「たいしたことはない」と決めつけられ、誰にも相談できないまま苦悩を抱え、思春期、成人期を迎える人もいます。早期から正しい知識と支援があることで吃音が重くなってしまうことを防ぎ、より良い生活を送ることができます。

【日時】令和8年3月2日（月）

午後1時30分～5時

【講師】関西外国語大学短期大学部

言語聴覚士・教育学博士

准教授 堅田 利明

本研修は、正しい吃音の知識を学び、さらに、それらを実際の支援に活かせるように、演習を中心進めていきます。

初めての方、何度かご参加された方、ぜひとも自身のブラッシュアップのために、ご参加ください。
お待ちしています。

- ◆会場 大阪市社会福祉研修・情報センター 4階 会議室
- ◆対象者 大阪市内の保育・児童等の福祉関係施設・事業所に勤務する方
- ◆定員 36人（申込多数の場合は抽選）
- ◆受講料 1,500円
- ◆申込方法 FAXまたはホームページからお申込みください
- ◆申込締切 令和8年2月9日（月）午後5時まで（必着）
- ◆受講決定 2月中旬に事業所あて発送します。2月20日までに通知が届かない場合はお問い合わせください。
- ◆主催・申込・問合せ先
大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 TEL (06) 4392-8201 FAX (06) 4392-8272

【昨年度の受講者の声】

- ・長年福祉職をしていますが、吃音をこんなに詳しく学べたのは初めてです。
- ・吃音について説明できるスキルを身につけたいです。

FAX 06-4392-8272 <「吃音（どもった話し方）のあるこどもへの正しい理解と将来を見据えた支援」研修申込書>

法人名			事業所名		
種別	右の番号	①障がい児・者福祉関係 ②保育・児童福祉関係 ③その他（ ）			
事業所連絡先	〒 住所 電話 FAX				
受講希望者 (ふりがなも必ず記入ください)		福祉業務経験年数	年齢	職種番号	
ふりがな		R8.2.1 現在 年	歳	右の番号	①相談職・支援職 ②保育士 ③保健師・看護師 ④教育・心理職 ⑤言語聴覚士 ⑥管理職・事務職 ⑦その他（ ）
備考欄	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料が必要な方は、その旨をご記入ください。				

◆提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません。